

城取博幸の
ニューヨークのスーパーマーケット見聞録

NO149
2022年9月
城取フードサービス研究所
城取 博幸

NYの「Amazon Go」と市内観光

2022-10-13 16:56:27

NY 視察最終編

ロックフェラーセンターの「Amazon Go」



正面にはモニュメントが二つ



ロックフェラービル

日本がバブルの頃、三菱地所が購入したがその後バブル崩壊で手放す



地下の「Amazon Go」
スタッフが一人いてまだ対面レジも存在しているようだ



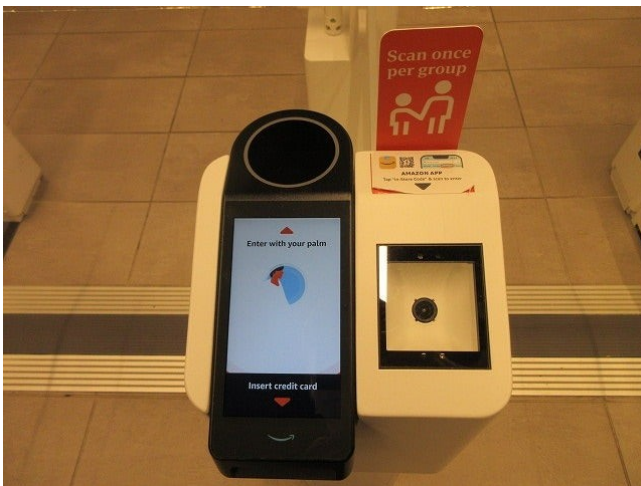
amazon app



ここにも手の平認証が

右は顔認証用のカメラではないか？

ホールフーズで登録しておいたのでそのまま手をかざして中に入る



天井のカメラ



商品を手にとればその重量で売れ方が分かる

カメラと重量のダブルチェックペットボトルの水を1本持ってそのままゲートを通過



マンハッタンを歩きある場所へ



スタバのピックアップ これも増えると思われる



電気自動車のテスラ

NY ではまだ台数は少ない

今は日本車が多いがその内逆転するかも



ニューヨーク公共図書館

ニューヨークは何度も来てこの前を通っているが、
ここに日本人が制作した彫刻があることは知らなかった
今回ぜひ訪れたいと思っていた



右の像が



「川村吾蔵(1884 年～1950 年)」

海外で活躍した彫刻家、美術家

長野県臼田市(現佐久市)に生まれる

パリ、ニューヨークで活躍し、1944 年に帰国するが、アメリカのスパイではないかと疑われる

戦後、GHQ に出頭命令を受け、通訳官に任命される

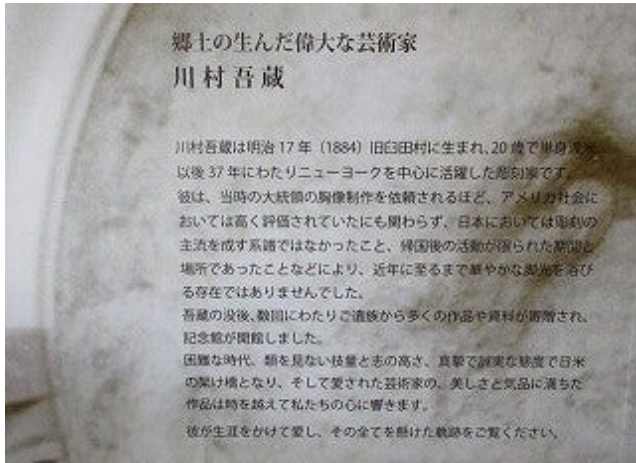
その後戦前の功績が認められマッカーサーの胸像を依頼される

川村吾蔵記念館 長野県佐久市田口 3112

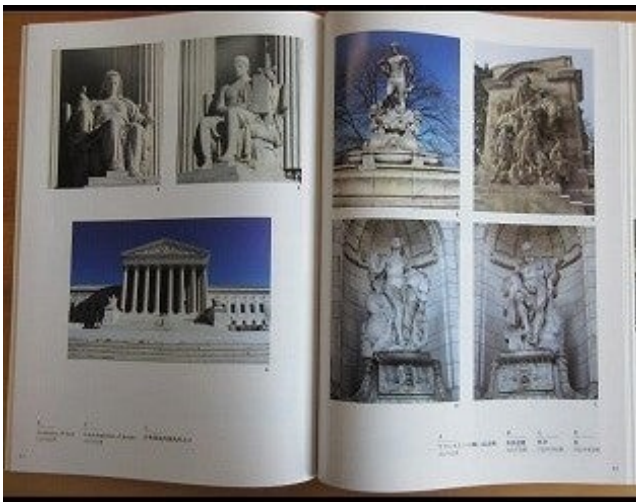
前に紹介しました



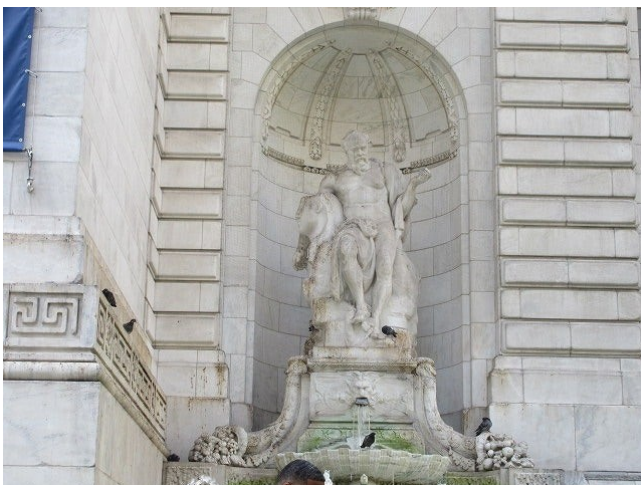
説明文



作品の一部にここが

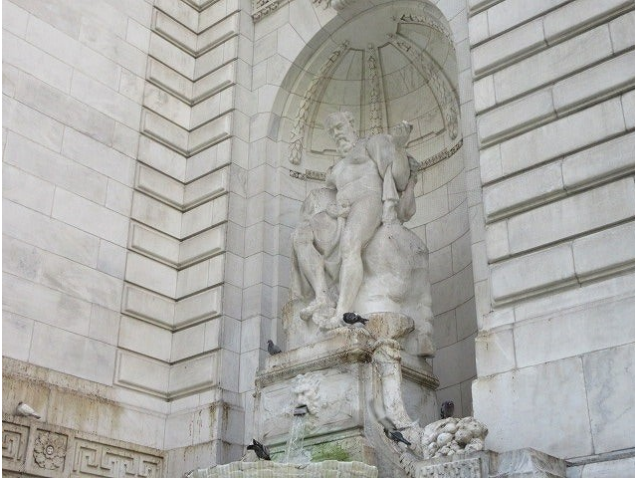


哲学の像（1922 年）



ニューヨークでは「野口英世」とも交流があった
高校時代の恩師であった「島崎藤村」ともフランスで交流

後にマッカーサー、ヘレンケラー、野口英世、島崎藤村などの胸像をつくっている



左側は「美の像(1922年)」



ニューヨークの「パリ凱旋門」も共同制作している
前のビル



ニューヨークセントラルステーション



案内所の上には



ティファニーの時計



グランドゼロへ



鳥のようなモニュメント
すっかり変わってしまった



自由の女神を一目



短い夏を楽しんでいる



近くの歩道



リスが



ステーキハウス「HOMESTEAD」

ここでニューヨークステーキを食べる



入口 歴史がありそうだ



ホースラディッシュのサラダ



シーザースサラダ



ワインを2本
私はラムチョップ



ペッパーステーキ 1ポンド
他にサイドディッシュでマッシュルームソティとフライドポテトを
注文



フィレステーキ

ようやくまともなレストランで食事を楽しんだ

サービス料 20%、ティップ 10%で日本円で約 25000 円ほどであった

4 人で約 10 万円也



翌日早朝ニューヨークを発つ

空港の無人コンビニ



ここは顔認証か



カードを差し込むだけで商品が持ち出せる Amazon の低価格システムらしい
その内日本にも



AA のラウンジで朝食



しっかりといただく



機内食 1 回目



2 回目



駆け足であったが満足感はある
「知行合一」やはり見ないと分からない